

地域ごとのまちづくり計画対話シート

作成日：令和4年（2022年）11月9日

作成者：（課名）市民協働推進課

（氏名）酒井喜久

1 基本情報

項目	入力欄
まちづくり協議会名	宝塚小学校区まちづくり協議会
地域ごとのまちづくり計画	【基本目標】 宝塚らしい環境景観づくり ②地域の宝物をみんなで共有し、情報発信のできるまち
	【具体的な取り組み】 58 歴史博物館を作るよう働きかける（コミュニティ）
取組内容の関係課	社会教育課

2 対話の状況

(1) 実施概要	
ア 日時：	令和4年11月7日(月) 10:00~11:30
イ 場所：	市役所2-3会議室
ウ 出席者：	以下のとおり ＜まちづくり協議会＞ 宝塚小学校区まちづくり協議会 ● ＜関係課＞ 社会教育課 水野課長 ＜協働の取組推進担当次長＞ 古南室長 ＜市民協働推進課＞ 酒井
(2) 確認できたこと	
ア	まち協から、今回の推進シート提出に至った経緯や目的について説明を受けた。
イ	まち協からは、宝塚市は、宝塚歌劇以外にも歴史的に著名な人物や価値のある遺品等が多くあるのに、十分に情報発信できていない。まずは市内に散在しているこれらの資源を集めて展示する取り組みを進め、将来的には学芸員を配置した博物館等の整備に繋げていってはどうかとの提案があった。
ウ	市からは、小浜宿資料館や市史資料室、たからづかデジタルミュージアムの公開等、宝塚市の歴史、文化の情報発信の現状を説明した。
エ	まち協からは、保管する場所や管理方法、人材確保等様々な課題があることは認識しているが、今後、対話を継続していくために、この機会に市でそれらの課題をすべて洗い出して提示して欲しいとの要望が出された。
オ	また、このテーマに関する今後の対話については、元市職員で郷土史家の直宮憲一さんをアドバイザーとして参加していただくよう呼び掛けて欲しいとの要望が出された。
カ	上記エ、オの要望を市で検討、調整することとし、来年1月後半から2月にかけて次回の対話を実施することとした。